高松市立下笠居小学校 学校だより　令和５年度

下小だより　1月号

※ 学校の様子は、ブログでご覧ください。(http://blog.edu-tens.net/e-simoka/)　下笠居小

あけましておめでとうございます…

まずは、今回の能登半島地震で亡くなられた方、被害にあわれた方に心からお見舞い申しあげます。私たちにできることはあまりないかもしれませんが、何かできることに協力したいと思います。

新たな年を迎え、保護者・地域の皆様をはじめ、関係するすべての方々に対し、謹んでごあいさつを申しあげます。令和6年(2024年)が皆様にとりまして、幸多き年となりますよう祈念いたします。今年は、辰(たつ)年。十二支の5番目にあたる辰は、「陽の気が動き、草木がなびいて大きく成長して、形が整っている様子」という意味になるそうです。ここから辰年は、物事が成長・発展し、形を成す年になるといわれているようです。下笠居小学校が、そんな年になることを願うばかりです。

さて、学校で立てる新年1月の目標には、二つの意味合いがあると思います。一つは、**「次の学年に向けて、あと3ヶ月何を頑張っていくか」という目標**です。もう一つは、新年にあたり、少し遠くの大きな目標に向けて**「今年はどうしていこうか」という目標**です。年の初めに、少し先の夢や希望をもつことは、これからの将来を考えると、とても大事なことです。その夢や希望を叶えるために、新たな目標を立て、努力を継続していってほしいと思います。しかしながら、少し先の目標が見付けられない人もいるかもしれません。その時は、自分のことを振り返りながら、ゆっくり考えてほしいと思います。

1月から3月までは、子どもたちが今の学年で培った力をそれぞれの場で発揮する時期であると同時に、令和5年を振り返りながら、身に付けてきたことをさらに定着させる期間といえます。一日一日を大事にしながら、子どもたちの夢や願いを実現させるための力を身に付けられるよう、令和6年も教職員一同、努力してまいります。保護者の皆様、地域の皆様、本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

下笠居小・中合同リーディングDXスクール推進検討会…

12月27日(水)に、「下笠居小・中合同リーディングDXスクール推進検討会」を下笠居中学校で開催しました。本年度最後の検討会となり、香川大学教育学部や高松市総合教育センターの方もお呼びして、一年間のまとめをするものとなりました。

検討会では、これまでの取組の成果と課題の確認と、3学期以降の取組について説明し、協議を行いました。3学期以降、授業の中での振り返りに焦点を当て、実践を積み上げていきたいと思います。また、2月9日(金)に開催される「教育フォーラム in TAKAMATSU」についても、協議を行いました。時間は短いですが、6年生の代表にも発表してもらおうと考えています。下笠居中学校と一緒に取り組んだことを発表しますので、時間の都合がつきましたら、ぜひオンラインでご参加ください。

事務職員の仕事は…　【主任主事(学校事務)　福田　悠二】

突然ですが、学校事務職員の仕事と言われて、みなさんはどのようなことを想像されますか？友人と仕事の話をしていても、必ず「どういった仕事をしているの？」と尋ねられます。その時は、「会社でいうところの総務の役割をしている」と言うと、ある程度理解してもらえます。授業に必要な消耗品(チョークやペンなど)を購入したり、電話対応をしたり、先生方のお休みを管理したりするなど、幅広い仕事をしています。

私事になりますが、私は、元々は教員を目指しておりました。大学卒業後に一年間、非常勤講師として県外の中高一貫校に勤務していました。しかし、あまりの多忙さに身をもって先生方の苦労を知り、先生方や子どもたちを支える仕事をしたいと思い、学校事務職員を選びました。学校事務職員の仕事を通して、少しでも先生方はもちろん、子どもたちのためによりよい教育ができるようにしたいと思っています。縁の下の力持ちとしてがんばっていますので、職員室に来た際には声を掛けてください。